

自己評価結果公表シート（平成30年度）

1、本園の教育目標

『一人ひとりを大切に考え、様々な体験の中から「可能性」を引き出し、「心」を育む教育』をモットーに自由で伸び伸びとした個性ある子どもに育つよう、子ども達も先生達も楽しみながら日々活動しています。また、当園は『遊んで学ぶ』を教育方針として、遊びから子ども達の可能性を広げていく教育を行っている。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

昨年度は園児の安全管理に重点を置き、スクールバスの中でのルール作りや公園までの経路、園児の突発的な行動に対しての対応について取り組むことができた。
本年度は、昨年度に引き続き園児の安全管理を徹底し、ケガだけでなくインフルエンザやその他の感染症対策についても取り組み、保護者や園児が安心して通うことができる環境作りを徹底していく。

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況	評価
幼児の広域な周囲の環境を、予測できる範囲事前に防止する。 また、園児が実際に活動している際には、周囲の環境を素早く察知し、防ぐようにする。	園児を公園等に連れて行く前に、自然災害により、その現場の環境に変化がないのか確認してから連れて行く。	A
園の行事を、職員、保護者、園児にとって負担が少なく、安全に実施する。	夏の異常気象に伴い、園での活動や行事の際には水分補給や休憩の方法について十分に検討し実施することができた。	A
感染症についての知識を理解し、感染症が蔓延しない為の対策や嘔吐物等の処理方法を徹底する。	感染症の園児がいた場合は、保護者に速やかに知らせることができたが、情報を細かく伝えることはできなかった。 感染症の蔓延を防ぐ為に、職員間で知識を深め、適切な対処方法を理解することができた。	B
職員と保護者とが連絡を密に取り合い、保護者からも子どもの情報を発信できる環境を作る。	子どもの伝えるべき内容は発信することができたが、それ以上の情報を発信する為の十分な時間が確保できなかった。	B

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

まだまだ経過途中の項目も見られてはいるが、今後も引き続き取り組む項目がある。
また、本年度は台風や地震などの自然災害の被害が大きかった為、より園児の安全管理に取り組む必要がある。

5、今後取り組むべき課題	具体的な取り組み方法
基本的生活習慣	教育の基本的な「挨拶」や「お礼」など言葉や人間関係だけでなく、朝食を食べる、早寝早起きをする、といった正しい生活習慣を身に付けてもらえるよう、家庭(保護者)を含めて子ども達に促す。
安全性の確認	自然災害により道路や園内環境に大きな変化があった為、園児が活動する場所でケガを予測し安全に活動できる環境を整える。
職員の質の向上	引き続き一つのテーマについて、研修や園内会議で、情報を共有しながら話し合う。

6、学校関係者の評価

保護者会において評価委員会を作り、概ね良しと判断されました。

7、財務状況 公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。

「達成度」の表示方法

【A】：十分に達成されている。

【B】：達成されている

【C】：取り組まれているが、達成が充分ではない

【D】：取り組みが不十分である